

## 北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」

### 報告技術募集のご案内

建設技術報告会は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催するものです。

本報告会は、今回で27回目となり、昨年は約700名の行政・民間の技術者の方々が21技術の報告を聴講されました。

#### 1. 開催期間

令和5年1月18日（水）～31日（火）

※初日は8:30から、最終日は17:00まで視聴可能とする

#### 2. 開催形式・聴講規模

##### ■開催形式

オンデマンド配信

##### ■聴講募集定員

1,000名

#### 3. 申し込み方法

報告技術のお申し込みは、3ページ以降の「報告技術募集要領」に従ってください。

#### 4. 主催

北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」実行委員会は以下の23機関・団体により構成されています。

- ・国土交通省 北陸地方整備局
- ・新潟県
- ・富山県
- ・石川県
- ・新潟市
- ・東日本高速道路株式会社 新潟支社
- ・中日本高速道路株式会社 金沢支社
- ・一般社団法人 日本建設業連合会 北陸支部
- ・一般社団法人 日本道路建設業協会 北陸支部
- ・一般社団法人 新潟県建設業協会
- ・一般社団法人 富山県建設業協会
- ・一般社団法人 石川県建設業協会
- ・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
- ・一般社団法人 日本建設機械施工協会 北陸支部
- ・一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会

- ・一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部
- ・北陸PC防雪技術協会
- ・一般社団法人 新潟県融雪技術協会
- ・一般財団法人 新潟県建設技術センター
- ・北陸地質調査業協会
- ・一般社団法人 日本埋立浚渫協会 北陸支部
- ・一般社団法人 北陸地域づくり協会
- ・一般社団法人 日本橋梁建設協会 北陸事務所

## 5. 問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」実行委員会事務局  
(国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内)

担当：技術情報管理官（新技術）、施工調査・技術活用課 技術活用係

〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5

T E L : 025-231-8036

E - MAIL : [houkokukai-hokugi@hrr.mlit.go.jp](mailto:houkokukai-hokugi@hrr.mlit.go.jp)

# 1. 報告技術募集要領

## 1) 募集技術とテーマ

### (1) 募集技術

新技術または更に普及を進めたい技術で、工法、機械、材料、システム、調査等の新技術及び開発途中の技術を募集の対象とします。なお、本報告会で過去に発表した技術は原則として発表の対象とはしませんが、その後の経過及び結果の報告が有用であり、特に普及を進めたい技術の場合に限り発表の対象とします。

また、応募技術は**1社2題以内**とし、複数技術（2題）を申し込む場合は貴社にて申込技術の優先順位を決めてお申し込み下さい。申込技術数により1題のみの発表となる場合もありますので、予めご了承願います。

### (2) 募集テーマ

応募技術を下記の表-1「テーマ一覧表」に基づいて、テーマ区分（①～⑥）の技術例を参考にテーマに分類してください。

また、申込み技術の主な施工場所（河川・道路・砂防・港湾・共通）の区分についても、分類してください。

【表-1 テーマ一覧表】

テーマ	技術例
① i-construction による生産性向上、インフラ分野のDX	(ICT 施工、BIM/CIM、コスト縮減、省力化、情報化に関する新技術、従来技術との新たな組合せ 等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設ICTに係る技術・情報化施工技術</li> <li>・ 施工現場などあらゆる情報の共有化システム</li> <li>・ 業務の効率化、デジタル化などの情報技術</li> <li>・ 遠隔地に対応した無線LANの長距離化技術</li> <li>・ 鉄やコンクリートに代わる新材料の開発</li> <li>・ その他</li> </ul>
② 社会資本の的確な維持管理・更新	(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センシング、モニタリング技術</li> <li>・ ICTを活用した点検、診断の技術</li> <li>・ 維持管理費の縮減や耐久性のある材料に関する技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
③ 雪に強い地域づくり	(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬期施工が可能な舗装技術</li> <li>・ 路面凍結防止抑制技術</li> <li>・ 積雪地域における各種冬期観測、計測技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
④ 自然災害からの安全確保	(危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土石流発生検知システムの技術</li> <li>・ 落石対策に関する技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
⑤ 環境の保全と創造	(建設副産物、リサイクル、脱炭素社会実現に向けた省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術 等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルト舗装再生技術、排水性舗装の路上再生技術</li> <li>・ 建設副産物のリサイクル技術</li> <li>・ 道路照明灯の省エネ化、高度化技術</li> <li>・ 道路管理における再生可能エネルギーの導入技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
⑥ その他	(上記①～⑤のテーマに該当しない新技術 等)

### (3)報告技術

本報告会の技術報告数は 24 課題を予定しています。

報告時間は、1 技術 15 分以内とします。

技術報告は、オンデマンド配信となります。

なお、報告技術の応募数が予定している応募数を超過した場合は、事務局で報告技術の選定を行いますので予めご了承願います。

論文発表者が報告するプレゼンテーションデータは、建設技術報告会専用サイト（以下、「専用サイト」という）よりダウンロードができるようにします。プレゼンテーションデータを PDF に変換のうえ、動画ファイルと同封してください。

### (4)報告論文

報告論文は報文集（PDF 版）として、専用サイトへの掲載・公開を予定しています。

ホームページよりダウンロードが可能です。

なお、オンデマンド配信サイトの質問サイトから発表者に対する質問を受け付けます。質問があった場合は、各発表者へ転送しますので質問者に直接回答をお願いします。

## 2) 担い手確保・育成（技術の研鑽度評価）

北陸地方整備局の担い手確保・育成のとりくみとして、CPD・CPDS の単位取得に加えて、技術論文等も総合評価の加点対象となっています。本報告会の報告技術のうち、後述の 3) (4) 申し込み技術の採否における「採用：発表課題」と「採用：掲載課題」の双方を評価対象技術論文とします。

#### 【参考】

「公共工事の品質確保に関する法律」を踏まえた北陸地方整備局の工事の入札・契約について（令和 4 年 4 月） P13 参照

<https://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/hinkaku/sougou/nyuusatsu-keiyakuR4-04.pdf>

#### ⑰継続教育（CPD 及び CPDS）の取得状況又は技術論文等の投稿状況

過去 1 カ年度の継続教育において取得した単位を登録認定団体毎の年間推奨単位で除した単位取得値の合計が 1.0 以上となる場合に評価する。

又は、過去 1 カ年度において投稿された技術論文等の有無。ただし、配置予定技術者本人が執筆した論文等で、技術雑誌等で公開されたものとする。また、評価対象技術論文等は、以下のとおり。

「北陸の建設技術」技術レポート

「北陸地方整備局事業研究発表会」発表論文

「北陸道路舗装会議」「北陸橋梁保全会議」**「建設技術報告会」技術報文**

## 3) 募集技術の申し込み方法等

報告技術の募集から本報告会開催までの概略スケジュールを、「報告技術募集から開催までのスケジュール」に示します。

### (1)申し込み方法

別添様式-1「報告技術申込書」に必要事項を記入して、**貴社が所属している実行委員会構成機関・団体へ EXCEL データで提出**してください。

## (2)応募資格

北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」実行委員会の主催構成機関・団体の傘下に属する会社（機関）<sup>注）</sup>に限定します。

注）主催構成機関・団体の傘下に属する会社（機関）とは、主催者である実行委員会構成機関・団体に属する官公庁及び各協会等の会員会社である。ただし、主催構成機関の各県に属する市町村（新潟市を除く）からの申し込みは各県からの申し込みとみなします。

## (3)申し込み期限

令和4年7月15日（金）

## (4)申し込み技術の採否

申し込みされた技術を北陸地方への適用性、技術の有用性等を考慮し、実行委員会で選定を行います。その後、実行委員会事務局より直接、報告技術を申し込みされた方へ採否通知を送付致します。報告技術の採否は、本報告会事務局より別添様式-1「報告技術申込書」に記入していただいた「メールアドレス」に配信いたしますのでアドレスは正確にご記入ください。

なお、報告技術の採否の種別は、「採用：発表課題」と「採用：掲載課題」及び「不採用」とします。「採用：発表課題」は、オンデマンド配信により技術報告を行うとともに報告論文を専用サイトに掲載します。「採用：掲載課題」は、報告論文の掲載のみを行います。

通知は 8月上旬を予定しています。

報告技術の選定種別の適用

発表種別	採用		不採用
	発表課題	掲載課題	
オンデマンド配信	○	×	×
報告論文掲載	○	○	×

## (5)各様式

採用通知を受けた発表者の方は、実行委員会から送付する「報告論文原稿・技術報告ビデオ作成要領」に基づき、期限必着で提出してください。

【報告技術募集から開催までのスケジュール】

	技術報告（発表者）	主催期間・団体等	実行委員会事務局 （北陸技術事務所）	実行委員会
6月				● 第1回実行委員会開催
7月	<p>■ 報告技術申込み 報告技術申込書を主催機 関・団体へ申込み 7月15日（金）〆切</p>	<p>■ 報告技術募集 報告技術募集を構成団体 へ案内 6月15日（水） ～7月15日（金）</p> <p>■ 申込技術申込書の提出 申込のあった報告技術申 込書をとりまとめ随時事務 局へ提出 7月19日（火）〆切</p>	<p>■ 報告技術選定（案）</p>	<p>■ 報告技術選定・承認</p>
8月			<p>■ 採否通知発送 8月上旬</p>	
9月	<p>■ 報告論文原稿作成・提出 論文原稿（PDF版）を事 務局へ提出 9月9日（金）〆切</p>			
10月	<p>■ プレゼンデータ作成・提出 動画データ（DVD1枚）を 事務局へ提出 10月31日（月）〆切</p>		<p>■ 報文集校正・確認</p> <p>■ プレゼンデータ確認</p>	
11月				
12月			<p>■ 聴講募集 12月上旬</p>	
1月	<p>令和4年度「建設技術報告会」開催 R5.1.18（水）～1.31（火）</p>			